

春ですね！今月号からリニューアル。

# たまシネマ通信

4月号 2019年4月21日発行



## TAMA CINEMA FORUM

TAMA 映画フォーラム実行委員会

〒206-0025 多摩市永山 1-5 ベルブ永山 (永山公民館内)

代表：042-337-6661 直通：080-5450-7204 <http://www.tamaeiga.org/>

### contents-

- 4月特別上映会『四月の永い夢』
- 『四月の永い夢』がもっと面白くなる映画
- たまスタグラム
- 今月の2本
- 電影タイトル話
- 3月特別上映会レポート

4月特別上映会  
『四月の永い夢』

4月27日(土)

会場：ベルブホール  
(ベルブ永山 5F 京王永山駅・  
小田急永山駅下車徒歩2分)

- ① 10:30 ~ 12:03 上映 (☆)
- … 12:03 ~ 12:30 ゲストトーク (☆)...
- ② 13:30 ~ 15:03 上映
- ③ 16:30 ~ 18:03 上映

\* (☆) 保育サービスあり。

\* トークはチケット (半券含む) 提示で入場できます。

ゲストトークには  
本作監督と川崎さん (出演女優) が  
ご登壇！



上映会企画者からの  
メッセージ

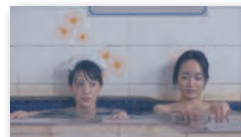
「このままでいいのだろうか？」という漠然とした不安を抱えながらも、前に進めなかったことはないだろうか。

3年前に亡くした恋人を引きずり季節に取り残されている初海 (朝倉あき)。初海の憂いを帯びた声は映画の舞台・国立に住む人たちに支えられて徐々に優しいハーモニーを奏で始める。昭和に憧

れた平成生まれの監督が描く世界はノスタルジックで、『耳をすませば』で「ウエスト東京マウント多摩」と歌われた街と繋がっている気がする。平成最後の桜が散る。移りゆく時代・環境の変化に戸惑いを覚え、新元号を迎え入れる気持ちの準備ができていない。そんな人にこそ、初海が喪失感と向き合っていく姿を見届けてほしい。(櫻木)

# 『四月の永い夢』がもっと面白くなる映画

『四月の永い夢』と同じく、桜がキーとなる映画や、多摩エリアの風景が見られる映画を実行委員がピックアップ。『四月の永い夢』とあわせてお楽しみください。



©WIT STUDIO / Tokyo New Cinema

## 『花とアリス』

監督：岩井俊二／日本／2004年／135分

『四月の永い夢』と同じく、映画の始まりにある**桜のシーンが印象的な作品**。当時10代の蒼井優・鈴木杏が演じる主人公たちが、高校に入学したお互いの制服を見合せて「似合わね〜」と言い合い、ふたりして桜並木ではしゃぎながら登校する様子は、思春期の女の子同士の気軽でかけがえのない関係が感じられてキュンとする。恋も友情も成長も、すべてがキラキラとつまんだ大好きな青春映画です。(H.N)

## 『耳をすませば』

監督：近藤喜文／日本／1995年／111分

言わずと知れたスタジオジブリの名作。思春期の少年少女が恋や進路に悩む繊細な心の変化を描いた作品。聖司のおじいさんは雲に「自分の中に原石を見つけて、時間をかけて磨くこと」が大切であると教えてくれる。

中川監督自身もジブリ作品が大好きであることを公言しているが、映像の美しさはもちろん人生経験を積んだ**大人から若者へ向けたメッセージに背中を押される**という点でも共通点がある。(H.S)

## 『パンとバスと2度目のハツコイ』

監督：今泉力哉／日本／2017年／111分

仕事を早々に切り上げ、“残業”に後ろ髪をひかれながら新宿の武蔵野館で映画のはしごをした。それが本作と『四月の永い夢』だった。どちらもゆったりとした空気感が心地よく**春の宵の桜が散り始める頃の陽気のようだった**。

昨年と今年に亡くなった敬愛する二大ベテラン女優が過去の対談で【空気感】を醸し出す作品が少なくなったと嘆いていたが、どちらも**作品の匂いが映像という“風”によって観る人に心地よく伝わる作品だった**。(青木)

## 『四月物語』

監督：岩井俊二／日本／1998年／67分

北海道から“ある動機”で東京の大学に入学した卯月（松たか子）の四月を等身大かつ丁寧に描いた岩井俊二監督の青春映画。四月、新生活。**降り注ぐ桜の花びらや柔らかい光の中で、新しい環境での希望と不安が絶妙な匙加減で描かれ、観る度に「何も起こらないが色々起こっている」**大学1年の春に一瞬に戻れる67分。当時20歳の瑞々しい松たか子の演技も見どころ。こちらも一部**国立市ロケがあり『四月の永い夢』との共通点も多い**。(M.O)

みなさまのお越しをお待ちしています！

### ■チケット料金

前売：大人 1,000円

当日：大人 1,200円（中学生以上）

子ども 600円（4歳～小学生）

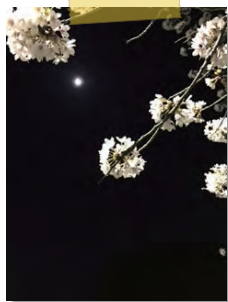
\*TAMA映画フォーラム支援会員、障がい者とその付添い者1名は当日600円です。

### ■前売チケット販売場所

- ・多摩市立永山公民館
- ・ひまわり（多摩市役所売店）
- ・多摩ボランティア・市民活動支援センター
- ・おしごとカフェ キャリア・ママ

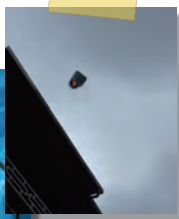


—多摩エリアで出くわした、心動くひとコマを。



国立の夜桜と月 (小野寺)

「TCF が有名になりますように！」(石井)



永山のさくら通りの朝 (陳)

## 今年のアカデミー賞作品賞受賞作『グリーンブック』

監督：ピーター・ファレリー／アメリカ／2018年／130分

いろいろな「認識」の壁で分断されてしまっている現在の世界への「希望」の提言と、監督お得意のコメディ要素を加味しつつ、実在した登場人物へのリスペクトを感じた良作品。渾身の役作りをしたV・モーテンセンにも賞をあげたかった！(F.I)

実話を元にしてしているからか、ステレオタイプの黒人差別を描いた映画ではないのがいい。ピアニストの黒人ドクを演じたマハーシャラ・アリの気品が美しく、時としてユーモラスでもあり、時として孤独にもなり、秀逸！暖かい気持ちになりたい方、ぜひ！(M.O)

きっと、映画を観終わった後でケンタッキーフライドチキンを買った人も多いはずだ。自分もポテトと2ピースのセットを買った。……おいしかったけど、今の自分には1ピースで十分だった。映画はとても良かったです。(よ)

## 昨年多摩にも来てくださった山戸結希監督の企画・プロデュース『21世紀の女の子』

監督：山戸結希、井樫彩、枝優花、加藤綾佳 他／日本／2018年／117分

8分の短い時間内だからこそその監督たちの個性が際立つ。タイトルに象徴される女の子たちが、ある者は緊張の糸をギリギリと張りつめて行き、ある者は迷いの日常を隠そうとしない。そして全体を締める山戸監督のほどばしるメッセージの嵐。15角の万華鏡は動きを止めない。(竹内)

でてくる女の子たちがみんな可愛い！しかしただ可愛いだけではなく、主体的な強さをどの短編からも感じるの、新鋭女性監督たちによるものだからこそだと思ふ。朝倉あきさんはこの映画でもとても素敵。(H.N)

## 今月の2本

—実行委員が最近観た映画をレビュー。好みや感動ポイントはさまざま。

持ち回りコラム

## 電影タイトル話

—あの映画、中国語では何ていう？

### 『初恋のきた道』

春は恋の季節。

『初恋のきた道』という中国の映画をご存知でしょうか。ベルリンで銀熊賞を獲得した、チャン・ツイイーさんの映画初出演作です。

ここでクイズです。

この作品の中国語の原題はなんでしょう？

答えは『我的父亲母亲』(僕の父親と母親)。まさに映画内容のまんまです。

ちょっと甘酸っぱくて爽やかな邦題から

想像できないくらい素朴な、むしろダサイといっても過言ではないものです。

しかし、この映画の背景が中国北西部の農村で、その田舎の純朴さがタイトルからちょうど良い程度で出ているのではないかと思います。

個人的には、両タイトルともすごく好きで、甲乙付け難いと思いますが、どっちがより味が出るかは皆様の判断にお任せします。

【担当：陳】

3月23日の特別上映会では『ぼけますから、よろしくお願いします。』を上映し、信友直子監督によるトーク、サイン会も実施されました。



本作はひとり娘である信友監督が呉で暮らす認知症の母と耳の遠い父を撮ったドキュメンタリー。トークでは信友監督がご両親を撮り始めた頃からのお話に始まり、介護と認知症について、「サニーサイドを見ることが大事」、「認知症になっても人生が終わるわけじゃない」とお話しされていたのが印象的でした。会場には本当に多くのお客さまがご来場くださり、熱心にお話を聞かれているのが伝わってきました。たくさんのご感想、反響を頂きまして、まことにありがとうございました。(矢野)

☑ TCFからのお知らせ

TCFって？

TAMA CINEMA FORUM (TCF)とは、学生から社会人まで年齢層も様々な市民ボランティアで構成される「TAMA 映画フォーラム実行委員会」で、毎年秋に「映画祭 TAMA CINEMA FORUM」を開催しています。授賞式の様子をニュースで目にされたことがあるかも…?! 映画祭以外にも、特別上映会など様々な取り組みを通して、映画文化の発信や地域コミュニティの活性化をめざし和気あいあいと活動しています。

TCFの一員になって、  
一緒に映画祭をつくりませんか？

5/19 (日) 15時半～、説明会を行います！

11/17(日)・11/23(土)～12/1(日)に開催予定の第29回映画祭 TAMA CINEMA FORUM を一緒につくる実行委員を募集しています。映画上映の企画やイベント運営、地域でのボランティア活動に興味があるという方、ぜひ説明会へお越しください。日程が合わない場合は個別にご説明します。詳細は下記ホームページにて！

映画祭を支えてくださる  
支援会員さまを募集しています

映画を「観る人、観せる人、創る人」の交流の場づくりを通じた、地域と日本映画界の活性化に向けて、当映画祭を資金面でサポートいただける支援会員さまを募集しています。ご支援いただいた方には特典をご用意しています。

【支援金寄付 個人会員】一口1,000円から  
郵便振替番号 00160-5-541123  
加入者名 TAMA 映画フォーラム実行委員会

【特典】

- ①映画祭パンフレット贈呈
- ②映画祭当日、前売料金でご覧いただけます。
- ③特別上映会割引(当日チケットを支援会員特別価格に。上映会は2～8月の間に4～5回開催予定)

※その他の特典もご用意する予定です。

TCFの最新情報やお問い合わせはこちらから

- WEB [www.tamaeiga.org](http://www.tamaeiga.org) 「TAMA 映画フォーラム実行委員会ホームページ」
- SNS [@tamaeiga](https://twitter.com/tamaeiga) (TAMA 映画フォーラム【公式】)
- [www.facebook.com/tamaeiga](https://www.facebook.com/tamaeiga)
- [tama\\_cinema\\_forum](https://www.instagram.com/tama_cinema_forum)
- [tamaeiga](https://www.tumblr.com/tamaeiga)

